



～子どもたちの未来のために「持続可能な社会」を～

15



●生徒数 142名
(4月1日現在)
●学級数 5学級

ESDに取り組む各学校の紹介をします。今回は気仙沼中学校です。

「ESD for SDGs」未来を生きる 未来を創る 人づくり

本校では、普段行っている授業や委員会活動にSDGsを関連させて、日常的な生活の課題を世界的な視野で考えられるようにすることで、次の社会を創る「人づくり」を目指しています。

探究的な学習の充実を目指して

全 校で探究的な学習をより推進するために、探究的学習を先進的に進めている気仙沼高校の先輩の発表を聴



まち歩きの様子

講しました。高校の先輩が「ロールモデル」(憧れの存在)となり、主体的に探究活動に取り組みことができるきっかけになりました。

1年生 身近な課題を解決しよう

目 分たちが生活している地域の課題を防災の視点で考え、実地調査を行いながら課題解決の方法を考えました。何気なく見ていた地域の風景を注意深く観察することで、新たな発見が多くあり、防災意識を高めることができました。

2年生 生きがいについて考える

コ ロナ禍で職場体験が難しいため、気仙沼市内で活躍されている社会人の方に講演していただいたり、オンラインで取材をしたりして働くことの意義や気仙沼で生活する価値などについて学び

ました。

また、自分たちの住む地域を知るために、まち歩きを行い、自分の足で歩き、肌で感じ、「体験」しながらたくさんの知識を得ることができました。中央公民館の井坪館長から「気仙沼は、東京よりもたくさんの人と出会え、たくさんの方ができるまち」という言葉をいただき、自分たちの住む場所の魅力について再認識することができました。

3年生 未来の気仙沼のために自分ができること

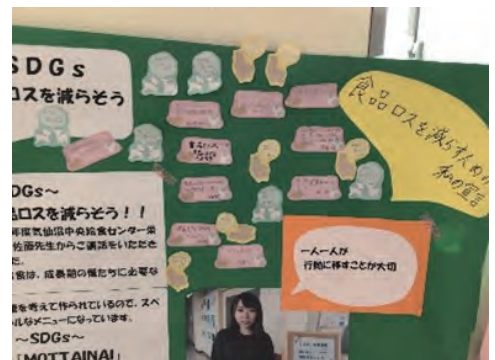
生 徒一人一人が気仙沼をより魅力的にするためにどのような地域にしていけばよいかを考え、課題解決に向けたテーマを設定し、個人探究を行いました。よりよい探究にするため探究コーディネーターに相談して、多様な視点から何度もテーマを練り直したり、調査を深めたりしました。探究を進める中で、地域のことを今まで以上に知り、未来について深く考えるようになりました。

学びの成果

生 徒たちは、課題を見つけて、解決の方法を探る中で、社会の一員である当事者



▲高校生の探究学習の発表(オンライン)



▲SDGsと関連させた保健委員会の掲示物

意識が高まると同時に、地域に対する興味や愛着も強くなってきました。今後地域住民の方や企業の皆様などさまざまな方とつながることで、学びの幅を広げ、深めていき、地域課題と世界的な課題を結び付けて考えることができるグローバル人材を育てていきたいと思えます。